

81 回生「教育・心理類型」 課題作文について

夢野台高校「教育・心理類型」では、「教育や心理というテーマを中心に、様々な人々との交流や他では経験できない実体験を通して、自分自身に関すること及び自己と他者や社会との関わりについて、人間の発達や学習に関する心理学的な知識や技能を身につけ、コミュニケーション能力を高めるとともに、人間理解を深める」ことを目的に様々な活動を行います。小学校・中学校の観察実習や大学院生との心理学共同演習など、一般入試で入学する生徒や他校では体験できないプログラムがたくさんあります。1年生のうちには「教育」と「心理」の両方を体験してもらいますが、2年生へ進級するときに、教育を専門的に学ぶ「教育コース」か、心理を専門的に学ぶ「心理コース」のどちらかを選択してもらいます。この1年でどちらのコースに進むかじっくり考えてください。

教育や心理の活動を行う上で、専門知識が必要になってきます。当然、授業の中でも扱いますが、事前に教育や心理に関する知識を蓄え、興味・関心を深めて各プログラムに臨むと、より有意義な時間となります。読みやすいものでかまわないので、「教育に関する本」と「心理に関する本」をそれぞれ1冊ずつ読んで、印象に残ったこと・考えを深めたこと・興味を持ったこと・疑問に思ったことを、それぞれ原稿用紙2枚（700字以上）にまとめてください。ただ感想を書くのではなく、感じ取ったことを自分自身の経験や身の回りに置き換えて考え、それが何につながっていくのかも考えてみてください。

提出する際に、表紙を付けて左上をホチキスで綴じてください。

参考図書

【教育】

- 『何のために「学ぶ」のか』外山滋比古 他（ちくまプリマー新書）
- 『考える方法』永井均 他（ちくまプリマー新書）
- 『君たちはどう生きるか』吉野源三郎（岩波文庫）
- 『先生、どうか皆の前ではほめないで下さい いい子症候群の若者たち』金間大介（東洋経済新報社）
- 『爆笑問題と考える いじめという怪物』太田光、NHK「探検バクモン」取材班（集英社新書）
- 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』ブレイディみかこ（新潮社）
- 『東大合格生のノートはどうして美しいのか？』太田あや（文藝春秋）

【心理】

- 『身近にあふれる「心理学」が3時間でわかる本』内藤誼人（明日香出版社）
- 『心理学ってどんなもの』海保博之（岩波ジュニア新書）
- 『ことばの発達の謎を解く』今井むつみ（ちくまプリマー新書）
- 『チーズはどこへ消えた？』スペンサー・ジョンソン著/門田美鈴訳（扶桑社）
- 『君の悩みに答えよう』大野久 他（福村出版）
- 『高校生に知ってほしい心理学-第2版 どう役立つ？ どう活かせる？』宮本聡介 他（学文社）
- 『うまくいっている人の考え方完全版』ジェリー・ミンチントン（ディスカヴァー携書）

※上記の本はあくまでも参考です。「教育」「心理」に関するものであれば、家にあるものや図書館で借りたものでも構いません。新たに購入をする必要はありません。